

1. 健康で幸せあふれる暮らしを築く

1-1. やすらぎのある暮らし -福祉-

ぶらっとホーム事業（拡充）

事業費 1,640 千円

福祉課

地域に根付く居場所づくり！

「近所にどんな人が住んでいるかわからない」そんな問題を解消するため、地域の居場所づくりを進めています。平成21年度は、地域の方に積極的に関わっていただき、2箇所（南ヶ丘・五色園）開所することができました。平成22年度も市内の空家、空き店舗等を利用し、地域の方に管理運営していただき、いつでも気軽にぶらっと集まって趣味を楽しんだり、談話したりできる家やスペースを設けていきます。

おたっしゃハウス事業（拡充）

事業費 204 千円

福祉会館

高齢者の方たちの元気（おたっしゃ）を応援します！

地域の福祉施設の拠点である福祉会館で、高齢者の方たちが、これからも地域で元気（おたっしゃ）に過ごしていただき、要介護及び要支援状態になることを予防するため、体操をしたり、おしゃべりをしたり、カラオケをする日を設けます。平成20年度から相野山福祉会館で開始し、平成21年度からは東部福祉会館で開始し、地域の高齢者の方たちで賑わっております。平成22年度からは3ヶ所目として、岩崎台・香久山福祉会館でも実施します。

障害者相談支援センター整備事業（拡充）

事業費 16,700 千円

福祉課

地域で安心して暮らすための相談窓口を強化します

障害種別を問わず、ライフステージを通して一貫した支援を行う障害者相談支援センターを設置し、地域生活支援、権利擁護などの多様な相談に応じます。

障害者（児）支援拠点整備事業（新規）

事業費 13,088 千円

児童課

総合的な療育を目指します

障害児通園施設「すくすく園」を移転新設するための設計を行います。

子育て支援総合コーディネート事業 ～ほっとサポート事業（新規）～

事業費 12,212 千円

児童課

「ほっ」とできる場を提供します

児童館や子育て支援センターにおいて、気軽に子育てのストレスや不安を相談できる場や機会を拡充します。また、子育て専用ホームページを充実させるととも

に、子育てに関する様々な情報を妊婦や3歳未満児の保護者を対象に携帯メールでお届けします。

児童手当・子ども手当支給事業（拡充）

事業費 1,749,258 千円

児童課

子ども手当が支給されます

子ども手当を円滑かつ確実に支給できるよう事務を進めます。

保育所施設整備事業

●保育所施設改修事業

事業費 7,943 千円

児童課

快適な保育環境をつくります

老朽化等により、緊急に改善が必要な施設の部分改修を行います。また、公共下水道の供用開始にあわせ、中部保育園の浄化槽を撤去し、公共下水道に接続します。

●就学前児童施設整備運営計画策定事業

事業費 1,224 千円

児童課

保育園の整備計画を検討します

今後、区画整理等により人口増加の見込まれる市の東部地区を含めた保育園等の整備計画を策定します。

認定子ども園整備補助事業（新規）

事業費 56,250 千円

児童課

低年齢児保育の新たな取組を支援します

保育を必要とする3歳未満児の新たな受入先として、私立幼稚園が取り組む認定こども園整備に対する事業費補助を行います。

放課後児童対策事業

事業費 105,165 千円

児童課

放課後の児童の健全な居場所を提供します

主に放課後、留守家庭となる児童を対象に、安全安心な居場所を提供します。

●学童クラブ運営事業（拡充） 31,672 千円

●児童クラブ運営事業 52,290 千円

●民間学童保育所運営補助事業（拡充） 21,203 千円

民生費特別会計繰出金

●老人保健特別会計繰出金

事業費 2,887 千円

保険年金課

高齢者の医療を支えます

老人保健財政の運営継続のため、老人保健法に規定された割合に基づき医療に

要する費用及び事務の執行に要する費用を繰り出します。

●国民健康保険特別会計繰出金

事業費 452,783 千円

保険年金課

やすらぎのある暮らしを目指して

国民健康保険財政の安定的な運営・強化を図るため、保険税の軽減、事務の執行及び医療の給付に要する費用を繰り出します。

国民健康保険特別会計繰出金 314,300 千円

国民健康保険基盤安定繰出金 111,283 千円

出産育児一時金繰出金 27,200 千円

●後期高齢者医療特別会計繰出金

事業費 489,829 千円

保険年金課

高齢者が安心して医療を受けられるために

75歳（一定の障害がある方は65歳）以上の方を対象とした、後期高齢者医療制度運営のため、窓口事務、保険料徴収及び高齢者健診などの市が行う事務の執行に要する費用や愛知県後期高齢者医療広域連合の運営のため市が負担すべき費用としての事務分担金、保険料軽減のための負担金や医療の給付にかかる公費負担金を繰り出します。

●介護保険特別会計繰出金

事業費 429,940 千円

高齢福祉課

高齢者の住み慣れた地域での生活を支援します

高齢者が住み慣れた自宅や地域で尊厳ある生活を継続することができるように、介護給付に要する費用や地域包括ケア体制の強化、介護予防及び現在要介護状態の方の負担軽減・重度化防止のための費用を繰り出します。

1-2. 健康的な暮らし ー保健・医療ー

女性特有のがん検診推進事業（新規）

事業費 5,494 千円

健康課

体に優しい生活を。私の健康は、私がチェック！

20歳から60歳までの一定の年齢に達した女性に対し、女性特有のがんである子宮頸がん及び乳がんについて、検診の無料クーポン券と検診手帳を配布し、がん検診受診率の向上を図ることにより、がんの早期発見、早期治療を目指します。

2. 心あふれ、ふれあいのある暮らしを育む

2-1. 学びのある暮らし — 学校教育 —

竹の山地区新設校建設事業

事業費 43,948 千円

教育総務課

平成25年度の開校に向けて実施設計を行います

基本設計に基づいて工事ができるよう必要な図面を作成します。

また、校舎建設場所の地質の状況を調査し、建物支持地盤の確認を行います。

学校施設整備計画策定事業（新規）

事業費 1,800 千円

教育総務課

学校施設整備の基本方針を策定します

児童生徒が増加している中、将来における人口推計を行い、適正な学校施設の整備についての計画を策定します。

小学校改修事業

事業費 93,400 千円

教育総務課

安全・安心で快適に過ごせる校舎等の整備を図ります

工事	西小学校下水道接続事業	30,000 千円
	相野山小学校校舎改修事業	34,550 千円
	東小学校校舎等改修事業	27,650 千円
設計	北小学校校舎等改修事業	1,200 千円

中学校改修事業

事業費 35,700 千円

教育総務課

安全・安心で快適に過ごせる校舎等の整備を図ります

工事	東中学校校舎等改修事業	34,300 千円
	西中学校校舎改修事業	1,000 千円
設計	西中学校トイレ改修事業	400 千円

学校補助教員配置事業

事業費 120,639 千円

学校教育課

小中学校に補助教員を配置します

学校生活に不慣れな小学校低学年児童への集団適応指導、学び方指導を始め、児童生徒へのきめ細かな指導を行い、基本的・基礎的な学習の定着を図るため、小中学校に補助教員を配置します。

学校給食地場農畜産物利用拡大事業（新規）

事業費 8,925 千円

学校給食センター

作ります、地元食材たっぷり給食を

学校給食における地場農畜産物の利用拡大及び定着を図り、望ましい食生活や食料の生産等に対する子どもの関心と理解を深めるため、地場農畜産物の需要の喚起による食料自給率の向上を推進します。この事業は、国の経済危機施策の一つとして農林水産省が「地産地消・産直緊急推進事業」としてメニュー化した平成21年度～22年度の2ヵ年限定事業であり、財団法人愛知県学校給食会からの助成金を受けて実施します。

2-2. 豊かな余暇のある暮らし ―社会教育―

民俗芸能映像記録保存事業

事業費 2,415 千円

生涯学習課

未来へ伝える地域の伝統を克明に映像記録

地域伝統芸能等の保存・継承に活かすため、失われつつある地域の伝統芸能等をデジタルビデオに記録・保存し、ライブラリー化するもので、平成21年度から実施しています。平成22年度は、「赤池の木遣と提灯とぼし」の記録保存を行います。この事業は、地域住民がふるさとに一層誇りと親しみを持ち、文化を通じた地域づくりに取り組むきっかけとなることを目的に、財団法人地域創造の助成を受けて実施します。

埋蔵文化財発掘調査事業

事業費 34,725 千円

生涯学習課

古代・中世のにしんを掘り起こす

開発計画のある土地に埋蔵文化財が存在する際に、市は文化財保護法99条に基づき、範囲確認調査を行い、開発事業者と協議を行います。協議により、土地に埋蔵されている文化財の現状保存ができない場合には、文化財保護法93条に基づき、事前に事業者負担により発掘調査を行い、記録保存をするものです。

市史編さん事業（拡充）

事業費 16,807 千円

生涯学習課

市民財産の貴重な歴史資料を未来へ

市制20周年（平成26年度）に向け、日進市史を編さんします。

昭和58年に刊行された「日進町誌」の検証を行った結果、移り変わりが著しく、市民からの要望が強い「民俗」「自然」分野の記録を残し、後世に伝えるため、平成22年度から約3年間にわたり調査を行い、集めた資料をもとに市史を編さんします。

総合型地域スポーツクラブ設立運営事業（新規）

事業費 2,334 千円

生涯学習課

「する・見る・支える」あなたが創るスポーツクラブ

地域の誰にでも開かれた、総合型地域スポーツクラブを創設します。

市民の手で、地域に根ざした個性豊かなスポーツクラブを設立、運営することにより、地域コミュニティの活性化、世代間交流の効果も期待でき、複数のスポーツプログラムが体験できるため、体力維持や健康増進、憩いの場、仲間づくりなど、それぞれのスタイルに合わせた楽しみ方ができます。

3. 自然と調和し、心地よい暮らしの場を整える

3-1. 豊かな自然の息づく暮らし ―自然環境保全―

里山整備事業 ～地域で里山を支える人づくり事業～

事業費 41,050 千円

都市計画課

（仮称）北高上緑地等の里山を整備します

住宅地周辺に里山が存在する本市の特徴を踏まえ、身近な自然と触れ合い「人と自然」との良好な関係を構築するため、（仮称）北高上緑地をはじめとする市内の里山を整備し、里山実践保全講座や親子里山教室を開催し、市民に自然の豊かさを伝える学習の機会を設けます。

また、（仮称）北高上緑地については、平成21年度に引き続き愛知県の「あいち森と緑づくり事業」を活用して整備を進めます。

東部丘陵保全事業 ～ふるさとの森づくり事業～

事業費 37,596 千円

都市計画課

東部丘陵地の自然環境を保全します

本市の東部に位置する丘陵地は、天白川水系の最上流部にあたる貴重な水源地であり、シラタマホシクサなどの希少動植物が生息する樹林地でもあります。

この自然環境を守るため、岩藤新池地区を県営地域用水環境整備事業により、市民が自然に親しむ場として整備し、東部丘陵地の大切さを広く知っていただけるよう努めます。

3-2. 心地よい暮らし ―生活環境整備―

河川・排水路維持管理事業

事業費 27,780千円

土木管理課

●河川排水路修繕事業 10,000千円

水害防止には維持修繕が大切です

老朽化した排水路の簡易的な修繕や側溝に堆積している土砂の浚渫を行います。

また、河川における護岸修繕及び河床に堆積している土砂の処理を行います。

●排水路整備台帳作成事業 10,100千円

排水路の地図を作ります

排水路や側溝の規格・断面・流水方向等の調査を詳細に行い、排水路の未整備や断面不足の箇所を把握し、排水路整備計画における基礎資料として活用します。

●橋梁長寿命化修繕事業（新規） 7,680千円

橋も長生き健康診断

今後、老朽化する道路橋が増大し、維持修繕にかかるコストも増大することが予

想されるため、予防的な修繕や計画的な架替えを行うために、橋梁点検及び台帳整備を行い、橋梁の長寿命化修繕計画を策定します。

河川・排水路整備事業

事業費 57,000千円

道路建設課

水害の危険を未然に防止するため、河川排水路の整備を行います

雨水処理が必要とされる場所の新たな排水路の計画や、老朽化した排水路の整備を行います。また、河川の改修、整備を行います。

下水道事業特別会計繰出金

事業費 760,544千円

下水道課

快適な生活環境を目指して

平成21年度に引き続き、南部浄化センターの増設工事を行うとともに、南部処理区の下水道管渠埋設工事を実施し、下水処理区域の拡大を推進します。

また、東海地震及び東南海地震への備えとして、下水道施設の耐震化に向けた整備を実施します。

新たに公共下水道供用開始区域となる南ヶ丘団地、三井団地、栄地区の下水道台帳整備を緊急雇用対策事業の一環として実施します。

農業集落排水処理施設事業特別会計繰出金

事業費 4,757千円

下水道課

快適な生活環境を目指して

良好な運転に努め、適切な維持管理を実施します。

3-3. 環境にやさしい暮らし —環境対策—

地球温暖化対策地域推進事業

事業費 1,800千円

環境課

ストップ・ザ・温暖化

地球規模で懸念されている地球温暖化を防止するため、地球温暖化対策実行計画を策定し、諸施策を推進するとともに毎年の温室効果ガスの排出量を算定します。

緑のカーテン普及啓発事業

事業費 500千円

環境課

自然の恵みで省エネ推進

地球温暖化対策の1つとして省エネ活動を推進するため、つる性の植物による夏季の室温低下効果のある「緑のカーテン」の取り組みを各家庭に普及、促進を図ります。

C O P 1 0 関 連 事 業（新 規）

事業費 1,500 千円

環境課

自然環境への関心を高めるきっかけづくり

平成22年10月に生物多様性条約第10回締約国会議（C O P 1 0）が開催されることを受け、市民との協働による関連イベントを開催し、その機運の高揚を図り、C O P 1 0が成功するよう協力します。

住宅用太陽光発電システム等補助事業（拡充）

事業費 7,200 千円

環境課

再生可能エネルギーや省エネ機器の普及促進

住宅用の太陽光発電システムや高効率給湯器の設置に対する補助に加え、新たに家庭用燃料電池（エネファーム）を補助対象とし、再生可能エネルギーや省エネ機器の普及促進を図り、地球温暖化対策を推進します。

3－4．安心な暮らし　－安全対策－

交通安全対策事業

事業費 178,000千円

道路建設課

●交通安全施設整備事業 31,000千円

交通事故を未然に防止するため、交通安全施設を設置します

交通事故削減のため、道路照明灯、道路反射鏡、ガードレール等の交通安全施設を設置し、歩行者、自転車、自動車が安心して通行できる道路整備を進めます。

●人にやさしい街づくり推進整備事業

～市道栄本郷線歩道整備事業～ 10,000 千円

歩行者が安全で安心して通行のできる道路を造ります

南小学校及び日進中学校の通学路である市道栄本郷線は、歩道幅員が狭いため、児童・生徒・歩行者が安全で安心して通行できるよう、歩道を拡幅し、整備します。

●天白川堤防道路舗装整備事業 72,000 千円

歩行者・自転車利用者が楽しめる散策路を整備します

市民が天白川の自然環境や景観を安全で快適に楽しみながら、散策やサイクリングをすることができるよう、道路のカラー舗装により散策路整備を行います。

●あんしん歩行エリア整備事業

～岩崎台地区路肩カラー舗装事業～ 4,000 千円

歩行者の安全を確保します

交通事故件数の多い岩崎台地区で、愛知県公安委員会と協力しながら、路肩のカラー舗装や横断歩道の設置等により、歩行者の安全な通行を確保します。

●赤池駅前交通広場及び周辺道路改良事業 5,000 千円

赤池駅利用者の利便性と安全性の向上を図ります

赤池駅前交通広場と周辺道路は、赤池駅利用者が集中し、朝夕の交通渋滞を招いています。駅利用者の利便性・安全性の向上と、駅周辺の円滑な交通処理のため、駅前交通広場の改良と周辺道路の改良計画を立案します。

●自転車走行環境整備事業 18,000 千円

歩行者・自転車利用者の安全を確保します

自転車を重要な交通手段として位置づけ、歩道と自転車道を分離することで、歩行者と自転車利用者にとって安全で快適な道づくりを進めます。平成22年度は、市道浅田・野方線で整備工事を行います。

●市道上田・藤島大根線整備事業（新規） 38,000 千円

歩行者、自転車利用者が安全で安心して通行できるよう道路を整備します

児童・生徒の通学路である市道上田・藤島大根線は、道路幅員が狭いため、拡幅整備し、歩行者通行帯を設けることにより、歩行者の交通安全対策を行います。

自主防災組織支援事業

事業費 2,760 千円

防災室

私達自身の手で災害からまちや家族を守る

各地区の自主防災組織の活動を支援するために、自主防災組織に対し交付金を支給します。また、自主防災組織が新設された場合に、防災資器材を助成します。

建築物耐震化促進事業

事業費 30,567 千円

建築課

●木造住宅耐震化促進事業 24,113 千円

住まいを構造改革しましょう！

昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組構法や伝統構法による木造住宅を対象に、耐震診断員を派遣し、診断を行います。診断は無料で、平成22年度の診断戸数は、130戸を予定しています。

さらに、市が実施する耐震診断を受診した木造住宅のうち、一定の条件に該当する場合は、耐震改修工事にかかる費用に対して、60万円を上限として補助します。平成22年度の補助対象戸数は、30戸を予定しています。

●防災上重要な建築物耐震化促進事業 6,454 千円

地震からあなたの命を守ります

地震発生時における建築物の倒壊による被害の軽減を目的として、昭和56年5月31日以前に着工された公民館等で地域防災計画の避難所として指定されている建築物に対し、耐震診断に要する費用の補助を行います。

災害対策事業

事業費 7,147 千円

防災室

●災害時緊急通報事業 ～防災同報無線設置事業～ 1,050 千円

災害等の情報伝達を円滑に行うために

緊急地震速報、気象警報、避難勧告等の緊急防災情報を即時に市民に知らせるため、防災同報無線伝播調査及び代替通信設備調査をします。

●防災関連備品等整備事業 6,097 千円

災害に強いまちづくりをめざして

災害時の避難生活者に迅速に対応できるよう、避難所に防災トイレ、備蓄食料、保存水などを配備します。

消防団事業 ～愛知県消防操法大会開催事業（新規）～

事業費 2,969 千円

防災室

安心な暮らしのために、技を磨きます

愛知県消防操法大会は、愛知県全域の消防団員を対象に、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的として、愛知県と愛知県消防協会が主催となり、毎年実施されています。第55回を迎える平成22年度は、本市が開催地となり、会場提供など協賛により実施します。

防犯環境整備事業 ～防犯灯整備事業（拡充）～

事業費 54,210千円

生活安全課

夜道も明るく安心して歩くことができますようにします

夜道における路上での犯罪を未然に防ぐため、防犯灯の設置を推進し、誰もが安全で安心して暮らせる環境整備を図ります。

4. 快適な暮らしをつくる

4-1. 安全で便利に活動できるまちづくり — 交通対策 —

道路・街路整備事業

事業費 501,384千円

道路建設課

交通需要に対応した道路の機能向上、整備促進を図るため引き続き用地買収、道路整備を行い、地域に密着した生活道路については老朽箇所の補修等を行います。

●道路整備事業 237,000千円

交通事故等の道路災害を未然に防止するため、道路整備を行います

各行政区から土木事業施工要望があった道路の老朽箇所や危険箇所の改修、整備を行います。

●県道整備支援事業 89,528千円

県道整備に伴う市道、排水路の整備を行います

県道名古屋岡崎線、岩作諸輪線等の県道整備に接続する市道、排水路の整備を行います。

●市道東名側道南線整備事業（阿良池工区） 72,000千円

東名側道南線の道路拡幅・歩道設置を行います

本路線は交通量が増加していますが、道路幅員が狭く歩道がないため、歩行者や通行車両の交通安全対策として道路拡幅及び歩道設置工事を行います。

●市道黒笹三本木線整備事業 55,000千円

三本木町とみよし市黒笹を結ぶ幹線道路を新設、整備します

三本木町地区とみよし市黒笹駅地区を結ぶ幹線道路の整備工事を行います。

●（仮称）市道藤島1号線整備事業（新規） 7,000千円

藤島町を南北に結ぶ道路を新設、整備します

市道藤島・藤枝線は、県道岩作諸輪線と県道名古屋豊田線を結ぶ路線として重要な路線ですが、道路幅員が狭く交通量が多いため、新たに安全な道路を整備します。

●用地取得関連 40,856千円

既に購入済み用地における尾張土地開発公社からの買い戻しを行います。

市道東名側道南線整備事業 18,857千円

市道黒笹三本木線整備事業 15,109千円

市道南山の手線整備事業 6,890千円

公共交通対策事業 ～くるりんばす運行事業～

市内巡回バスの利便性を高めます

事業費 145,116千円

生活安全課

バス運行の改善や利用促進のための周知を進め、市内巡回バスを安心安全で快適にご利用いただけるよう環境整備を図ります。

鉄道駅バリアフリー化推進事業

～米野木駅バリアフリー化推進補助事業～

人にやさしい駅舎に変わります！

事業費 66,000千円

都市計画課

日進市の東の玄関である名鉄米野木駅に、鉄道事業者である名古屋鉄道（株）が、平成21年度に市民参加により作成した「米野木駅周辺バリアフリー基本構想」に基づき、エレベーター・多機能トイレ等を整備します。この事業の早期実現のため、市が整備費の一部を補助します。事業は、平成22年度に設計・整備工事を行い、年度内に完成予定です。

4-2. 憩いと潤いのあるまちづくり —公園・緑地—

藤枝地区公園整備事業（新規）

事業費 3,150千円

都市計画課

子供から大人まで、みんなで育む公園作り

公園不便地区が多い藤枝地区に、子供の遊び場、地域の憩いの場、地域コミュニティ形成の場となる公園を整備します。平成22年度は、測量・設計業務を行います。

米野木地区公園整備事業

事業費 4,500千円

都市計画課

安全で安心して遊べる広場の整備

平成21年度に一部設置した道路側のフェンスに引き続き、平成22年度は、外周のフェンス、排水施設、出入り口の設置工事を行い、安全で快適に遊べる公園を整備します。

藤塚公園整備事業

事業費 19,703千円

都市計画課

安全で安心して利用できる公園づくり

藤塚公園は、平成20年度に用地取得や実施設計を行い、平成21年度には整備工事を行い、供用開始しました。安全性、利便性のさらなる向上のため、平成22年度は、出入り口用地を追加で取得し、出入り口工事、排水工事を施工していきます。

公園再整備事業

事業費 13,150千円

都市計画課

既存公園の施設の改修を行い、安全で魅力ある公園整備

老朽化した木製大型遊具の取り替えを行い、安全で魅力ある遊具を設置し、賑わいのある公園へと再整備します。また、健康で豊かな生活を送るため、公園の利

用状況や地域の要望にあわせ、介護予防遊具を順次整備します。平成22年度は2公園に6基を設置する予定です。

田園フロンティアパーク整備事業

事業費 8,385 千円

田園フロンティアパーク整備室

「農」に親しみ、「農」を学ぶ、農業まちづくりを始めます

市民が、より気軽に農を学べる農学校「日進アグリスクール」を開校し、暮らしに楽しみや喜び、憩いや潤いを与える「市民菜園」の開設を目指します。

市民菜園では、食や環境そして健康を考え、農業の振興を図りながら市民に農ある暮らしを提供し、災害時には、避難場所や救援活動の拠点として、仮設住宅の建設も可能な施設とします。

●田園フロンティアパーク整備事業 8,122千円

●農学校（日進アグリスクール）事業（新規） 263千円

4－3．良好で快適な居住環境のあるまちづくり　－市街地整備－

都市計画推進事業　～都市計画図書作成事業～

事業費 20,250 千円

都市計画課

●（仮称）野方三ツ池公園線都市計画図書作成 2,100 千円

新たな南北軸を作ります

市の南北に広がる市街地を結ぶ、新たな南北軸を作るため、（仮称）野方三ツ池公園線の平成23年度の都市計画決定に向け、総括図、計画図及び計画書等の都市計画図書を作成します。

●都市計画基本図作成 15,000 千円

都市計画基本図をリニューアルします

市内全域を撮影した航空写真データを基に、都市計画を検討する際の基本となる、1／2500スケールの都市計画基本図を作成します。

●用途地域の見直し 2,100 千円

住みよい街づくりに向け、都市計画を見直します

人口、土地利用の状況、周囲の動向、さらに本市の将来像を勘案しながら、都市計画を見直し、住みよい市街地の形成に向けて、用途区域を変更します。

●（仮称）赤池地区都市再生整備計画作成 1,050 千円

赤池区に新たな街を作ります

本市で最も利用価値の高い土地である赤池区の低・未利用地を、土地区画整理事業の手法で緑溢れる市街地に作りかえるため、まちづくり交付金事業に基づき都市再生整備計画を策定し、実現化を図ります。

土地区画整理推進事業

事業費 238,145 千円

区画整理課

●米野木駅前特定土地区画整理推進事業 78,000 千円

土地区画整理事業の推進を図ります

良好で快適な居住環境のあるまちづくり（市街地整備）を目指して設立された米野木駅前特定土地区画整理組合に対し、市土地区画整理事業補助金交付条例に基づく補助金や都市施設整備に必要な負担金を交付し、事業の円滑な実施を支援します。

国県補助等市負担金 18,000 千円

区画整理組合補助金 60,000 千円

●浅田平池土地区画整理推進事業 87,000千円

土地区画整理事業の推進を図ります

良好で快適な居住環境のあるまちづくり（市街地整備）を目指して設立された浅田平池土地区画整理組合に対し、市土地区画整理事業補助金交付条例に基づく補助金を交付し、事業の円滑な実施を支援します。

また、土地区画整理事業の事業進捗に合わせ、地区外の道路等公共施設を一体的に整備及び改善を図り、周辺地区の秩序あるまちづくりを推進します。

区画整理事業関連工事 72,000 千円

雨水管付替工事（浅田平池線）

区画整理組合補助金 15,000 千円

●赤池箕ノ手土地区画整理推進事業 73,145千円

西の玄関口として計画的な市街地整備を促進します

現在、当地区内には低未利用地、ミニ開発、市街化区域内農地が点在しており、計画的な市街地整備がなされていない状況です。当事業を促進することで、西の玄関口にふさわしい都市環境と自然環境の調和した良好な住環境と、道路、水路、公園などの公共施設の早期整備改善を促進します。

さらに、当事業の要となる商業施設の早期出店を可能にすることで街の活性化、税収増も図ることができ、都市計画道路小田赤池線、赤池駅前線、都市計画予定線の早期整備にも繋がり、交通需要に応じた道路機能の向上も促進します。

区画整理組合補助金 73,145 千円

区画整理組合設立支援事業

事業費 17,100 千円

区画整理課

●北のエントランス整備事業

～東口論義土地区画整理組合設立支援事業～ 13,500 千円

計画的に北のエントランスを整備します

北のエントランスとしてふさわしいまちづくりを区画整理事業により計画的に整備し、当地区のみならず、周辺地区の利便性向上を図ります。また、リニモ古戦場駅・芸大通駅、名古屋瀬戸道路長久手 I C などの交通結節点に近接した環境を活かし、多様な施設立地の拠点とし、広域からの交流人口を呼び込むような土地利用計画を進めます。

平成２２年度は、既存の農風景と都市環境との調和を図るようまちづくりの基本調査を行い、地区の設定・基本構想案の作成、発起人会支援を行っていきます。

●梅森中部土地区画整理組合設立支援事業 3,600 千円

計画的な市街地整備の準備を行います

当地区は梅森台、日生梅森園などの市街化された街なみの狭間にある、低未利用地です。良好な宅地利用が図れるような市街地整備を行うため、区画整理事業の認可を受け、計画的に公共施設の整備改善を進めます。

平成２２年度は、近隣地区との高低差の緩和、道路の整備改善、すべての宅地の接道化・整形化、公園・緑地・調整池の計画の認可を目指します。

5. 豊かな暮らしを支える

5-1. 特性を生かした農業のまちづくり　－農業振興－

農業用排水路整備事業

事業費 27,150千円

産業振興課

農業用排水路施設の適切な維持管理を進めます

農繁期における適切な維持管理に努めるとともに、老朽化した農業用排水路施設の整備を進めます。

●用排水路維持修繕事業 3,050千円

●北新町狐塚地区排水路整備事業 11,500千円

●パイプライン改修事業 12,600千円

ため池保全事業　～地震対策ため池防災事業（岩藤新池下池）～

事業費 8,085千円

産業振興課

ため池の適切な維持管理に努めます

県営事業として進められる岩藤新池のため池防災事業に、市が負担金を支出し、事業の推進を図ります。

5-2. 活力ある工業のまちづくり　－工業振興－

5-3. にぎわいのある商業のまちづくり　－商業振興－

商工業振興事業　～信用保証料補助金事業（拡充）～

事業費 17,300千円

産業振興課

セーフティーネット資金の信用保証料を新たに助成対象とします

中小企業者の経営の安定などを進めるために、現在行っている商工業振興資金の信用保証料の一部助成に加え、セーフティーネット資金の信用保証料についても一部助成の対象とすることとし、利用の促進を図ります。

5-4. 魅力のある観光のまちづくり　－観光振興－

観光振興事業　～日進花火大会開催事業（新規）～

事業費 8,500千円

産業振興課

ふるさと日進を感じる新しいにぎわい（祭りと花火）を創ります

多くの市民が楽しみや喜びを共有できる祭りを開催し、その中で花火を打ち上げます。

6. 実現化のための取り組み

市民と行政のパートナーシップの育成

市民参加及び市民自治活動条例制定事業

事業費 2,164 千円

市民協働課

市民と考える参加と活動の仕組みづくり

市民参加及び市民自治活動によるまちづくりについての基本的な事項、仕組みを定め、市民、市民活動団体、事業者及び市がそれぞれの役割と責任に基づき、協働してまちづくりに当たることにより、「いつまでも住み続けたい」活力に満ちた魅力あふれる日進市の実現を目指します。

行財政運営の効率化

第5次総合計画策定事業

事業費 6,632 千円

企画政策課

10万人都市へ向けて！

総合計画は、長期的なまちづくりを総合的・計画的に進めるための指針として定められる、行政の最も基本的な計画です。

今後も人口増加が見込まれる本市では、「10万人都市を見据えたまちづくり」をキーワードのひとつとして、第5次総合計画(計画期間 平成23年～平成32年)を策定します。

土地利用対策事業 ～地区名称地番変更事業(新規)～

事業費 13,675 千円

企画政策課

住所をスッキリ分かりやすく！

名称地番変更とは、分筆や合筆により地番が混乱している区域や土地区画整理事業を行った地区において、町名及び地番を整理し住所を分かりやすくする事業です。

平成22年度から、現在区画整理事業を行っている「竹の山地区」及び「浅田町平子地区」を対象に、権利調査などの作業を進めます。

庁舎改修事業

事業費 118,789千円

財政課

旧図書館をリニューアルし、事務室としての利用を進めます

平成21年度に耐震補強工事を行った旧図書館の建物をより有効に活用するため、1階及び2階の事務室化や、あわせて本庁舎の一部を改修し、市民サービスの向上を図ります。

その他

緊急雇用創出事業

事業費 62,940 千円（うち人件費 47,181 千円）

産業振興課

離職中の方に雇用の機会を提供します

市が発注する委託事業や臨時職員雇用などを通じて、離職中の方を直接・間接的に雇用し、次の職が得られるまでの間の生活を支援します。